



50001400 東京学芸大学 現代社会と日本語
担当、南浦涼介

現代社会と日本語

第2回 方言と社会

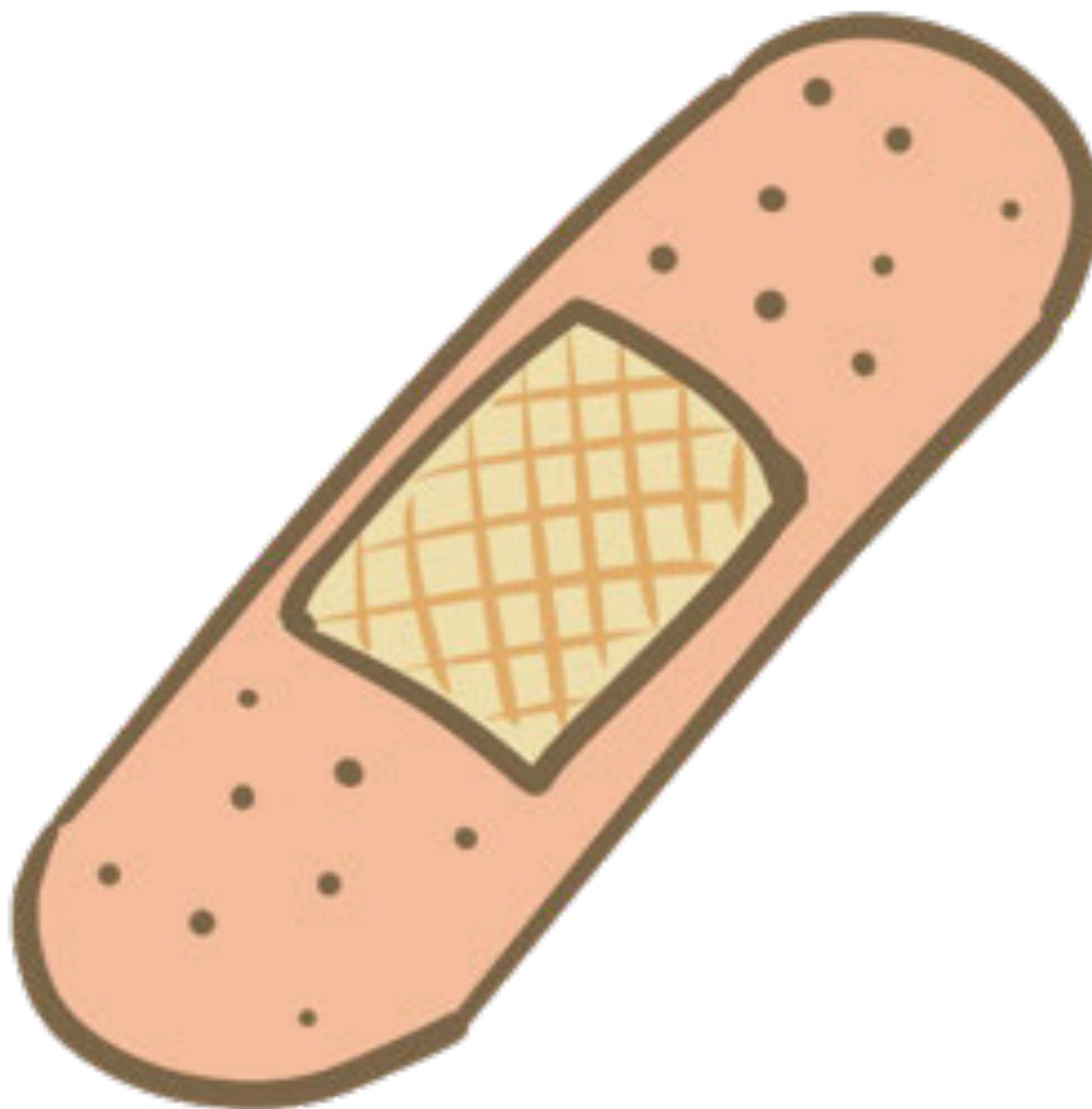
授業は8:50からはじめます。

Teamsの投稿欄に書かれているコメントスクリーンの
リンクから、コメントをできるようにしておいてくれると
スムーズです。

PCでなくスマホでコメントしたいときは
画面上のQRコードから入れます。

導入

みなさんはこれをなんと呼びますか？



- 絆創膏(ばんそうこう)
- カットパン
- バンドエイド
- リバテープ
- サビオ
- キズバン

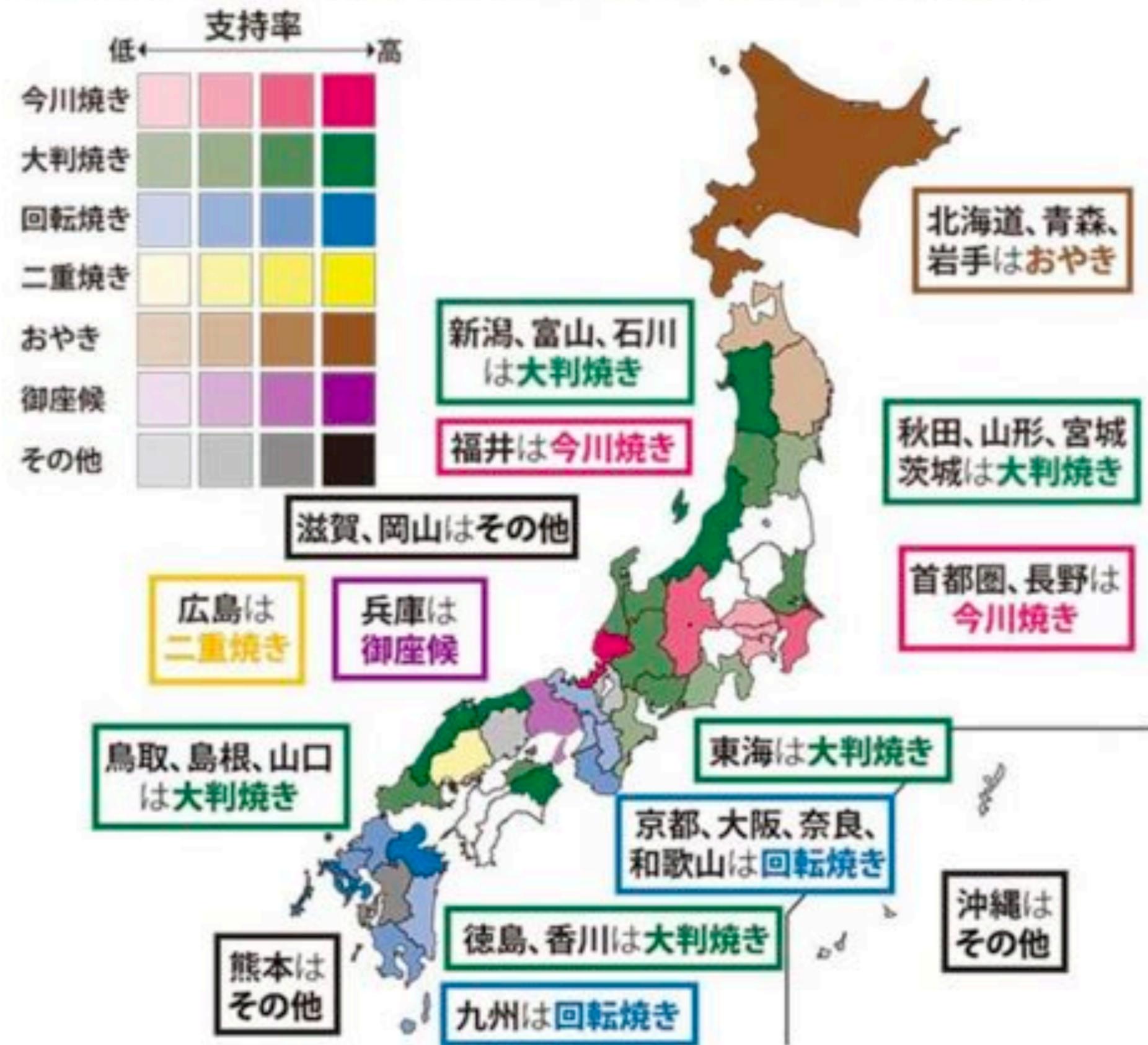


導入

みなさんはこれをなんと呼びますか？



【地方の傾向】大判焼き？今川焼き？ 回転焼き？あなたの地域では何と呼ぶ？



※熊本を除く

(Jタウンネット調べ)

思考 1

人をけなすとき、私たちは何ていいますか？

「バカ」と「アホ」の境目はどこにあるのだろうか？

「バカ」や「アホ」やどのような広がりかたがあるのか？



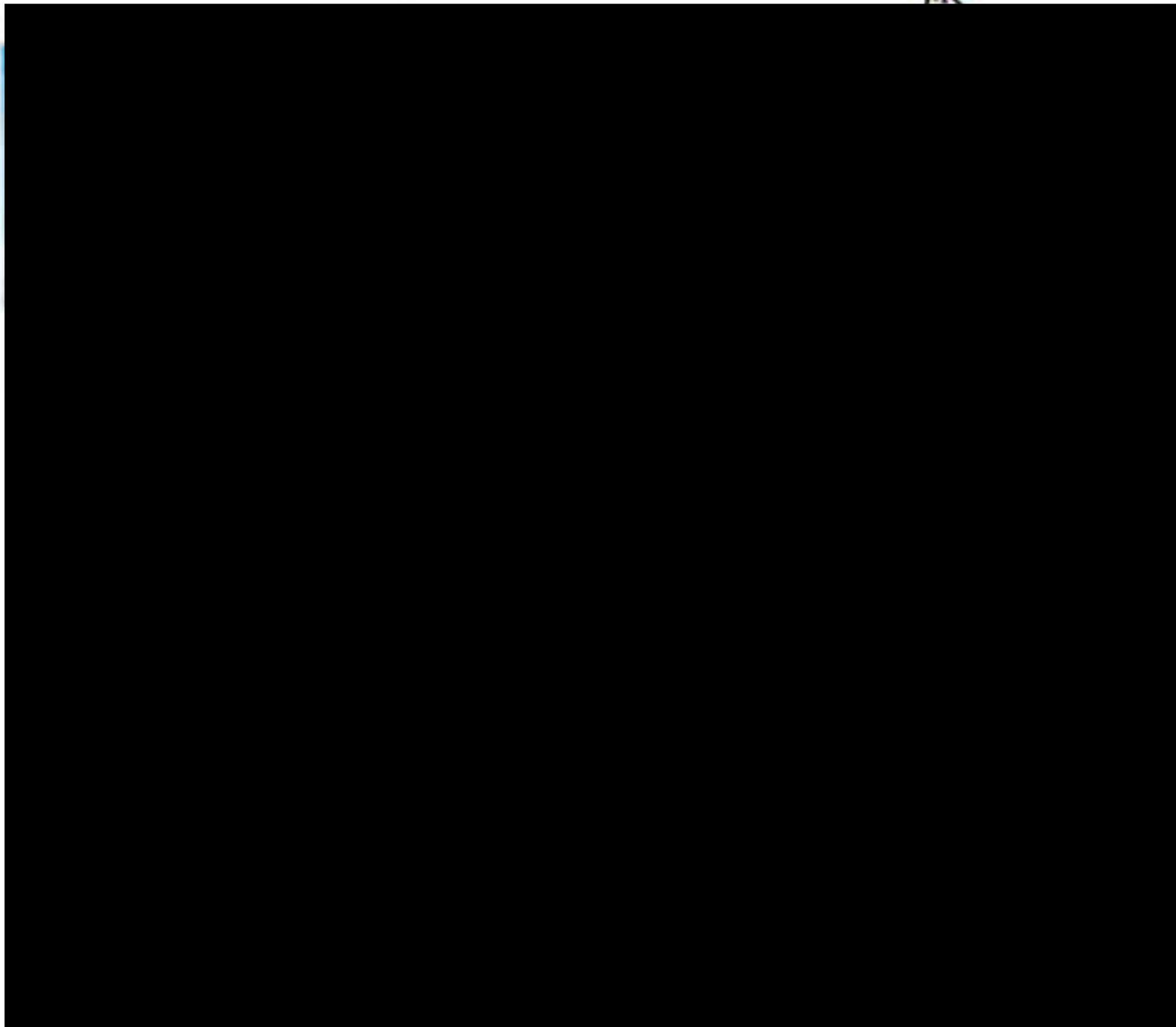
思考 1

クラスのことば地図を作成しよう

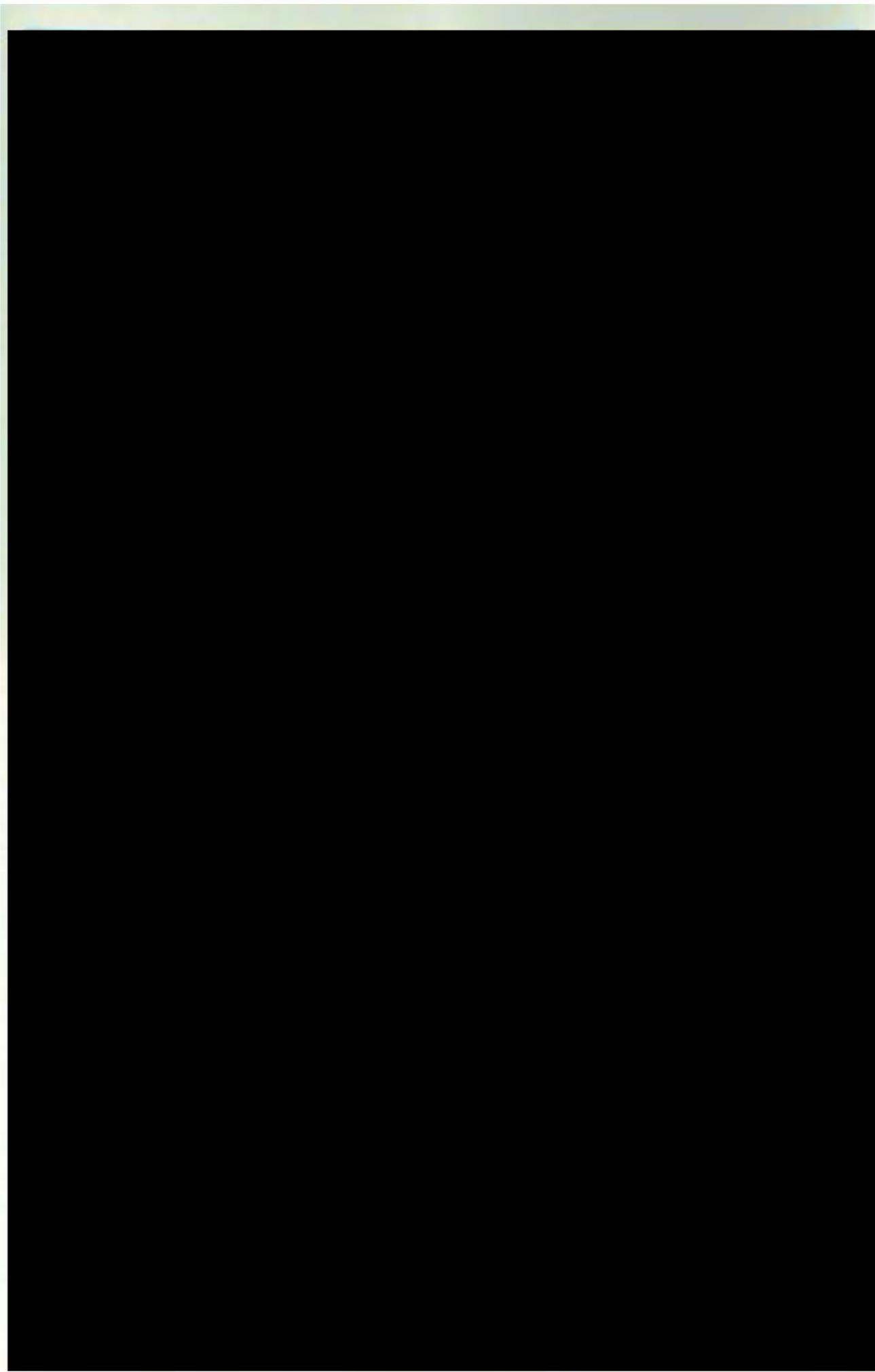
- ① Teamsに書かれたURLのフォームから、自分の出身地（市町村くらいまで）と、該当することばを書き込む。（名前はニックネームやハンドルネームでOKです）
- ② 南浦の方で、それをデータベースにgooglemapに反映させ、URLを共有します。
- ③ クラスのみんなで方言地図として可視化します。

**思考
1**

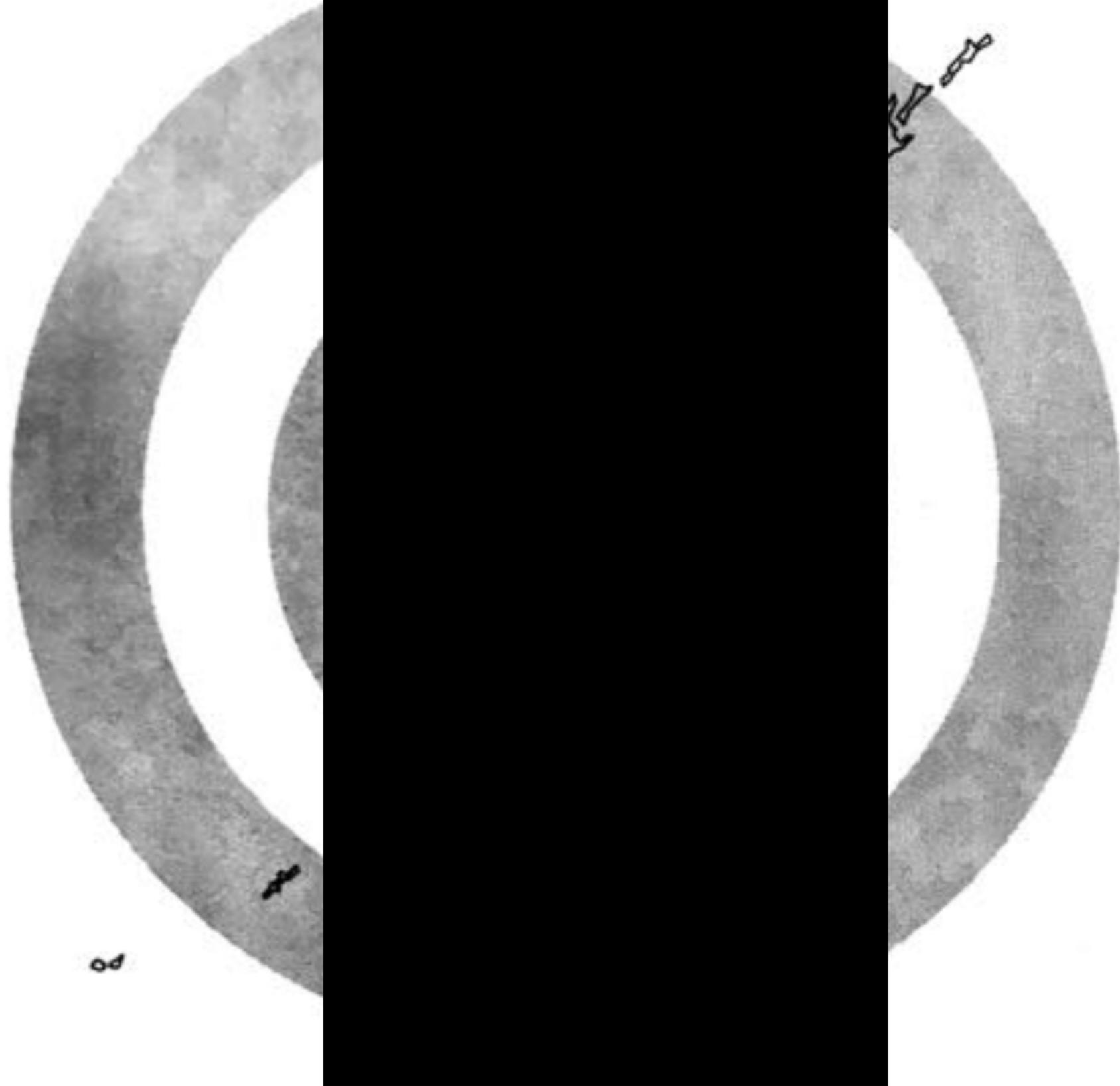
「バカ」や「アホ」やどのような広がりかたがあるのか？



思考 1

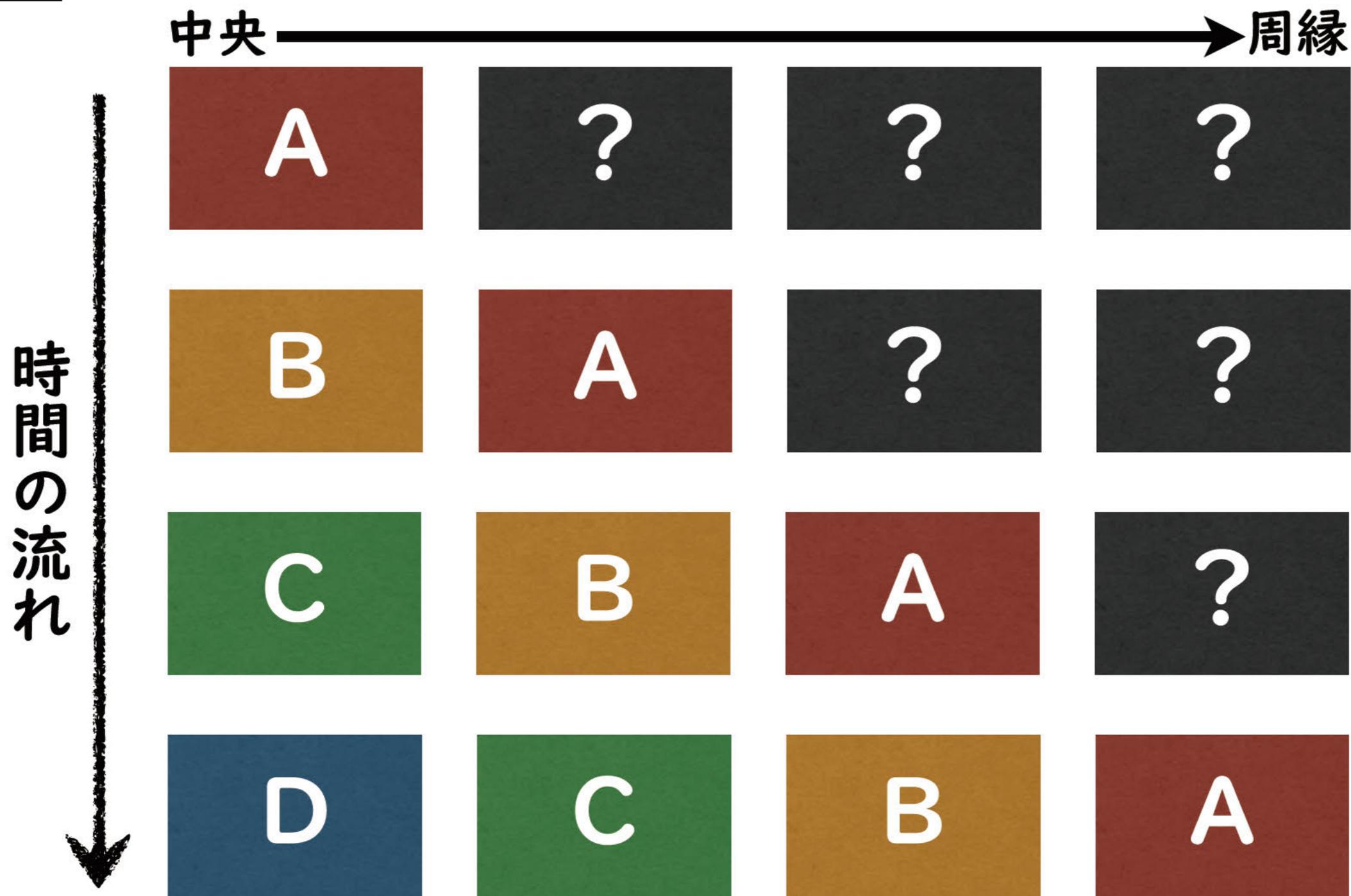


思考 1



思考 1

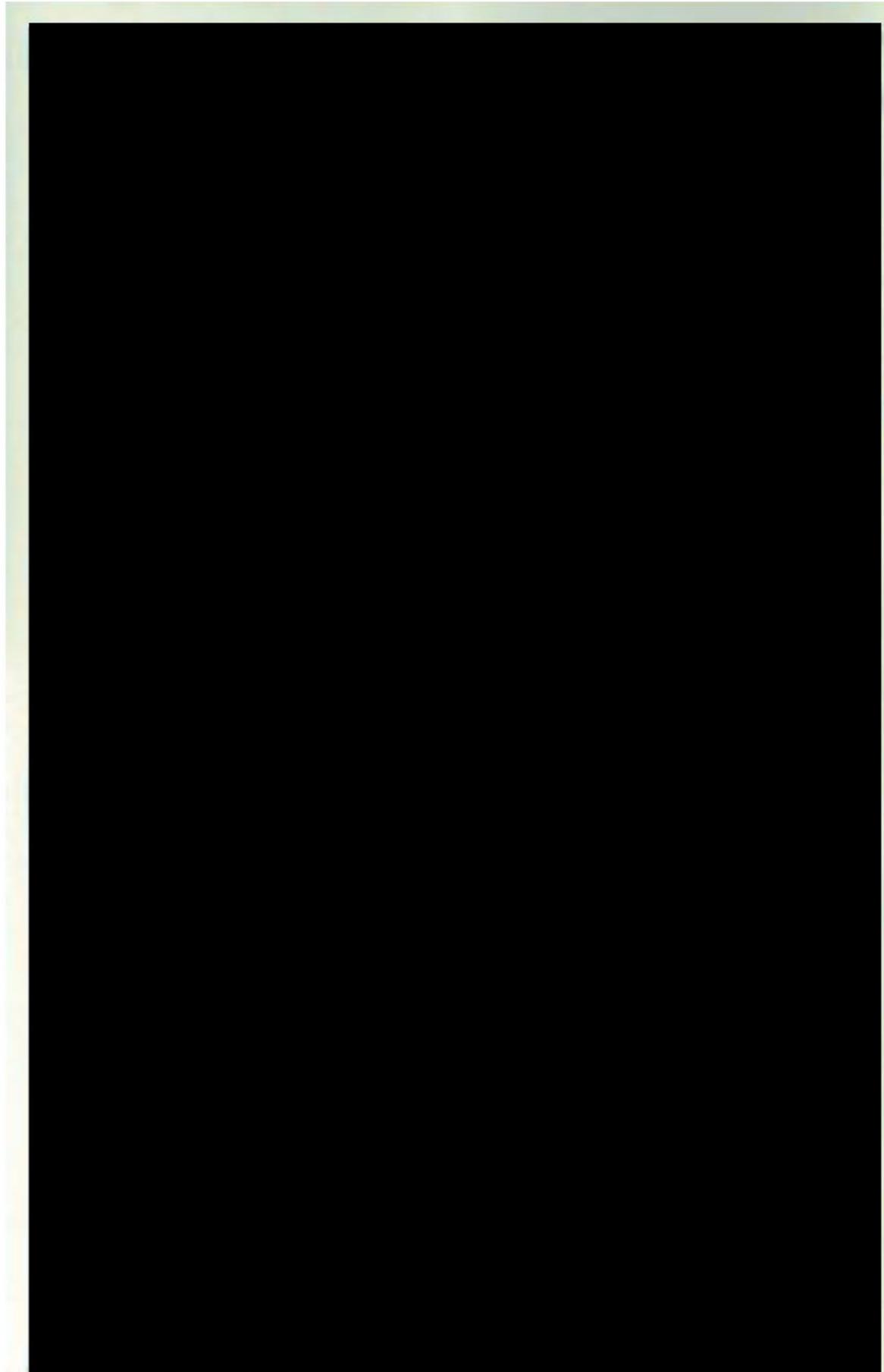
なぜ同心円状に広がるのか？



隣のことは自分も使うようになるには？

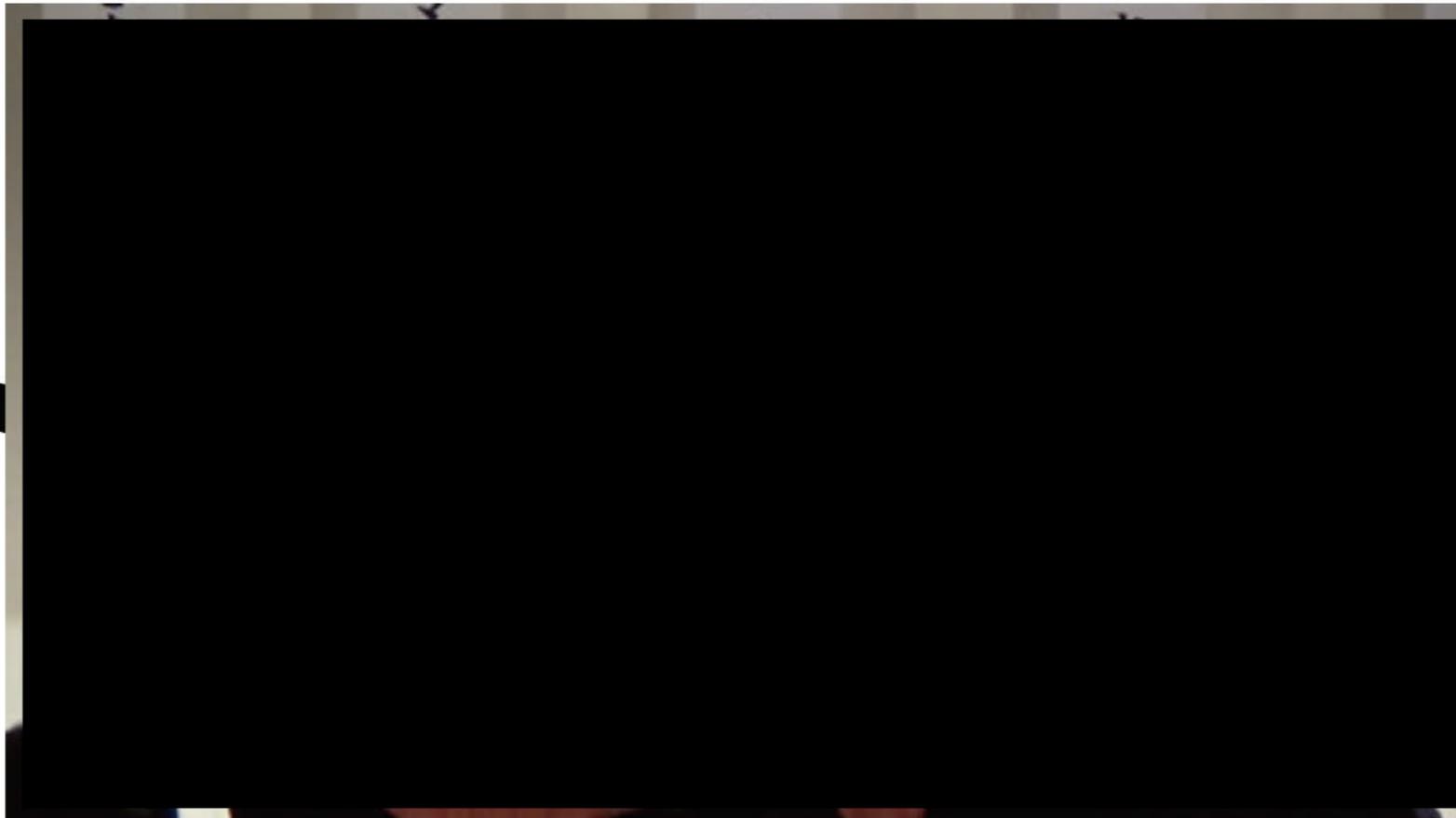
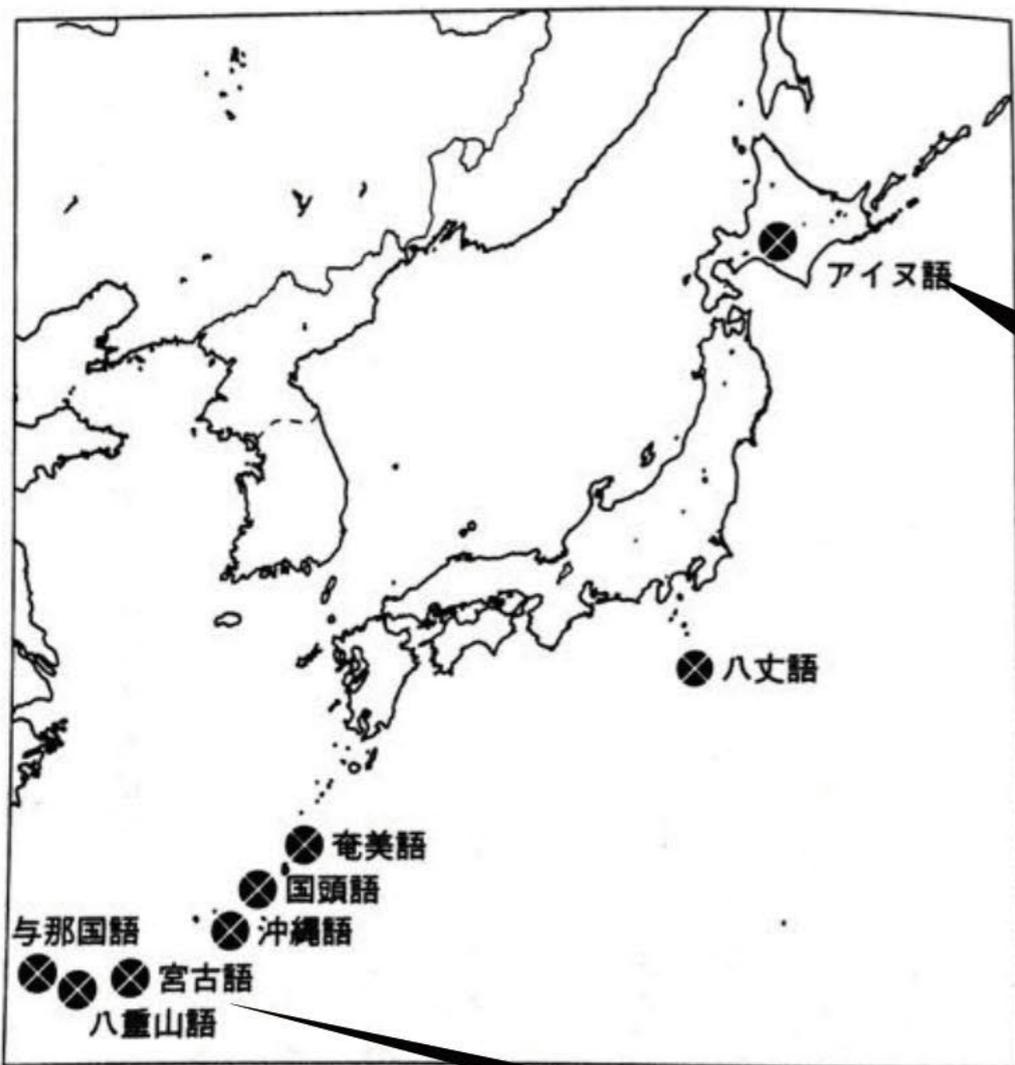
中央と周縁の文化に関わる権力勾配の存在

ところでみなさんは、この分布図のような言い方をしているだろうか？



思考 2

日本には消えゆく言語はあるのか？



思考 2

なぜ、方言は消えようとしてしまうのか？

歴史的に
見ると

凡そ癖というものは、例えば健全なる身体に悪性の腫れ物が生じたるが如きものであって、その悪性たるを発見したならば、直に外科医に依頼して切断しなくてはなりません。さすればその結果は直に顕著となり、忽ち治癒させよう。

『東北発音矯正法 序文』（井沢修二 1909年）

台湾での外国語強制としての日本語教育の経験を、東北地方に持ち込み、東北の教師たちに大きな影響を与えた。

その結果

今までの、いたずらなる方言蔑視の教育は、子どもたちに、自分の身につけているコトバに対する劣等感、ひいては生活上の劣等感に拍車をかけ、生活姿勢を萎縮させる結果をもたらした。

鈴木正之「方言と生活の指導」（北方教育同人懇話会編『北方教育—実践と証言』 1979年）

思考 2

今日の冒頭のように、方言が好きな人は多い！ なのに、なぜ方言は消滅方向性を消せないのか？

木部暢子(2013)『じゃって方言なおもしろか』岩波書店より

言語がどの程度次の
世代に伝承されてい
るか？

コミュニティ全体で
どのくらいの人が使
用しているか？

コミュニティ内で言
語に対する支持がど
のようにあるか？

当該言語のコミュニティの中での使用者

公的な場面でどの
程度使用されてい
るか？

伝統的でない「新
しい場面」で使用
されているか？

国の言語政策で保
護されているか？

当該言語の使用のコミュニティ内優先度

当該言語の国家政策

その言語の
「書かれた資料」が
どの程度あるか？

教育に利用される言
語資料（書記法）な
どがあるか？

当該言語の「書記言語」度

言語の消滅方向性にとしたら「対抗」できる？

方言が継承されるための条件とは？

そのコミュニティの
熱意

学校での方言教育

行政の積極的支援

アイデンティティに
つながる方言

マスメディアの利用

木部暢子 (2013) 『じゃって方言なおもしろか』岩波書店より



現は、比嘉さんが共通語で補足する。

学生たちは言葉の意味をかみしめながら踊った。2年生の仲村里央さんは、「共通語より、すんなり入ってきて、さらに深く理解できる」と話す。比嘉准教授は「沖縄の言葉を理解することで、学生たちの動きが変わった」と話す。

同大付属研究所が企画し、芸能や古典文学、言語学の研究者が今後もプログラムづくりに取り組む。(編集委員・謝花直美)

日本語母語話者が英語や中国語を話す場合、アクセントやイントネーションがネイティブスピーカーと違っていても、基本的なコミュニケーションができていれば「話せる」といえます。でも、方言の場合は、アクセントやイントネーションが違っていると「話す」とは言わないことがあります。

この違いはなぜ生まれるのか？



「方言」の持つ共同体の一体化作用は強い

同じ言葉を話す集団の仲間なのだから、完璧に話せるはずだ

完璧に話せないなら「同じ仲間」とは言えない

世界から見たとき「日本語」はどうか？

方言による地域おこしをどう考えるか？

命題

方言と社会, の学びから得られる言語と社会への視線

命題4

方言の分布には、いくつかのパターンがある。その拡大や影響には、地域同士の交流や社会的な権威関係が表れる。(例：方言圏論)

命題5

社会的な権威関係や影響は、歴史的蓄積の中で、方言は消滅方向にあるものも多い。

命題6

近年は方言の再評価もあり、地域おこしなどにつながることもあるが、それが「非日常性としての方言」であればやはり維持には限界もある。

命題7

方言はコミュニティ形成のツールとなるが、一方で集団を堅く結びつける作用を持つ。これは方言だけでなく、「言語」の持つ特性の一つで、この言語の集団形成作用は内部の結束性にも、外部の排他性にもつながりうる。